

第88回しみず新事業創出研究会・議事録

作成 事務局

[日時] 10, 7, 20 (火) / 研究会 (15:30~18:00)・交流会 (~19:00)

[場所] 静岡商工会議所・清水事務所

[出席] 36名 (注) 敬称略

企業17人/12社 (タイカ・イハラ観光・J-オイルミルズ・望月鉄工所・鈴与総研・合同酒精・日本ケミカル・大日工業・
エスエスケイフーズ・静岡・テクノスルガ・カタヤマ)

特別会員/5人 (東海大・発明協会・経済局)

CO・OB・AD/7人 (松下・小林・笠井・二階堂・芹沢・山崎・長井)

事務局/7人

1、会長挨拶及び情報提供：中西会長

- * 「美アスタ」・・・最近では宣伝の多様化により、消費者は何を買ったら良いか迷わされている。本質を突いた商品を作り選んでもらうのが良い。人間の健康に付する「美アスタ」をヒットさせたい。ヒット商品も中々持続しないもの。これからも全国の研究会等でPRし知名度を上げる積りでいる。消費者に知ってもらう手段が重要である。
- * 「ノビレチン」・・・次世代の重要なテーマは、認知症に効果がある「ノビレチン」(苦味成分、皮に多く含む)。現状、原料は「シークワサー」(沖縄方言：酸っぱい食べ物の意味)が最有力候補。地元では、刺身とか焼き魚にかけたりポン酢の代用とかジュースに加工が多い。産地沖縄で「シークワサー」を現地調査した。沖縄本島北部の酸性土壌(南部はアルカリ土壌)が適しており、自然に育ち(スクール等の自然の恵みもある)管理も不要のようである。現在需要の多いジュース加工では、殆ど絞りかすは金を出して廃棄している(未利用資源)。沖縄から原料を調達し亜臨界抽出すれば事業性が高いと考える。
(注) 配布資料：「沖縄における産業振興について」(東北大学・一石英客員教授)、「勝山シークワサー」、「沖縄地域経済産業ビジョン～中間報告～」(内閣府沖縄総合事務局経済産業部)、「陳皮の抗認知症成分ノビレチンによるアミロイドβペプチドの神経毒性発現抑制とAbeta誘発性記憶障害改善」(東北大等)
- * 「リスクを負わない企業は淘汰される」・・・最近、海外特に中国・韓国・インド・ベトナム等の企業が元気である。新事業参入に関する日本の文化は、「石橋を叩いて渡る」式がいまだ多く、「他所が遣らないならうちが遣る」というベンチャー・スピリットがない。日本企業は、何処かで成功事例が出ると類似事業に群がるケースが多い。また、定年退職した技師が外国に流れている。
そういう日本の将来が心配である。

2、情報提供「品質経営事業について」：ナガイシンクタンク 長井代表

「商工会議所・するがロバストデザイン実践研究会」主催の「実務者のための品質工学セミナー」の紹介があった。10/6~11/17まで毎週水曜日(計7回)に県工業技術研究所で開催予定。定員20名有料。(注) 関連チラシ配布。

3、LED実用化PJ・活動報告：大日工業 川瀬社長

静岡から新商品を開発し地元企業を活性化させたい。現在5項目程度のLED関連の商品化を目指す、実用化するには参加メンバーが少ない。原則、毎回「創出研究会」開催日に活動しているので、一寸覗いてみて興味あったら参加してください。

4、発明協会からの情報提供： 発明協会 風間アドバイザー

6件のシーズ情報が紹介された。「枇杷の種のお茶」(制がん作用)、「梅果実の油脂劣化抑制作用」(天ぷら油の劣化防止、煙が出難い)、「LED集魚灯の開発」(高性能、水中対応)、「スライドドア」(建具屋さん考案)、等々。原理原則、何か閃いたら出願すること(出願が遅れて後悔するケースが多い)。

5、説明「静岡商工会議所の事業と組織等について」： 商工会議所 赤堀課長

商工会議所の主要な推進事業、今年度収支決算の報告、会議所組織体制、静岡・清水両事務所のご案内等を説明した。また、新産業課の事務事業についても紹介した。

6、メンバーによる課題提起と意見交換：

企業秘密は分かるが、本研究会では困っていることをもっと積極的に提言し、お互いに利用したらどうか(望月鉄工所)。

7、成果品『美アスタ』：事務局(久能)

今日現在、約350ケース売却した。いまブランドオーナー募集中である。

8、今後の予定：

- * 次回創出研究会開催は9/14(火)を予定。注)詳細未定
- * 「いちごいちえ」の堆肥袋(20kg)の紹介。文言「イチゴに強い! 健康堆肥!」。
- * 駿河湾地域新事業推進研究会成果品「美アスタ」注文票を配布。

以上(相磯記)